授業科目名・形態	母性看護学実習　　実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	岩間　薫　他	実務経験の有無	有	開講期	3年前期・後期
科目ナンバリング	N5-3009npmht				

【授業の主題】

1. 母性各期における対象を総合的に理解し、対象のニーズに応じた看護を実践できる能力を養う。
2. 実習を通して母性看護の実際を理解することができる。

【到達目標】

1. 母性各期にある対象を理解し、健康増進のための看護を理解できる。
2. 妊産褥婦および新生児の援助に必要な基本的な看護技術を実践できる。
3. 妊産褥婦および新生児の健康状態をアセスメントし、看護過程を展開できる。
4. 母性看護における継続看護の必要性を理解できる。
5. 母子保健医療チームの一員としての役割を理解できる。

【授業計画・内容】

実習計画・内容の詳細については、『母性看護学実習要項』に明記。
＊実習オリエンテーション時に説明する。

【授業実施方法】

臨地実習
主体的に実習に臨むこと。

【事前・事後学習】

・実習内容に関する事前学習課題を提示しているので自主学習として毎回行うこと。
・実習内容を踏まえ、記録のまとめ、振り返りを毎回行うこと。

【主な関連する科目】

リプロダクティブ・ヘルス／ライツ、母性とセクシュアリティ、母性看護学概論、母性看護方法論Ⅰ、
母性看護方法論Ⅱ、助産科目

【教科書等】

母性とセクシュアリティ、母性看護学概論、母性看護方法論Ⅰ、母性看護方法論Ⅱの授業で使用した教科書や
資料等

【参考文献】

適宜提示

【成績評価方法】

事前学習課題10%、実習評価60%、実習記録20%、実習態度等10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

国公立大学医学部附属病院で助産師として産婦人科病棟や外来において母性各期にある女性や妊産褥婦およびその家族への対応や看護等の実務経験あり。

実務経験から得た助産師としての知識や技術である妊産褥婦および新生児の援助に必要な基本的な看護技術等を母性看護において実践できるように活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

- 事前学習課題を十分に行うことで、充実した実習となります。実習準備を万全にして臨みましょう！
- 母性とセクシュアリティ、母性看護学概論、母性看護方法論Ⅰ、母性看護方法論Ⅱで学んだ成果を大いに臨床の場で発揮して下さい。
- 生の奇跡、生命の神秘さに触れることのできる貴重な実習となります。